

よねざわ女子 Café 報告書

(1)開催概要

日 時:令和6年10月17日(木) 16:30~18:00

場 所:山形県公立大学法人 山形県立米沢栄養大学・米沢女子短期大学内食堂(カフェテリア)

目 的:本市の課題として「若年女性の人口流出」が挙げられる中、学園都市としての特色を活かし、市内3大学(米沢女子短期大学・米沢栄養大学・山形大学)の女子学生に、若い女性が住み続けたいとなるまちづくりについての意見を聞く機会を設ける。出された意見については、新総合計画策定の参考資料とする。

内 容:参加者は、以下のテーマについてグループに分かれて話し合った後、グループ毎の意見を近藤市長に発表する。

＜テーマ＞若い女性が住み続け、様々な年代の女性が自分らしく楽しく暮らせるまちを実現するために(自分が市長の立場になったとして考えてください)

参加者:30名(内訳:米沢女子短期大学生15名、米沢栄養大学生8名、山形大学生7名)

(2)当日の様子



(2)グループ発表内容

当日、各グループから出された意見は以下のとおり。

<A グループ>

- 夜が暗くて怖いので、街路灯を増やす。
- 公園が少ないように感じるので、公園の数を増やす。
- 買い物できる場所が少なく、楽しめなためショッピングモールを作りたい。
- 女性同士だと、気兼ねなく話ができるため、今回のような女子会を定期的に開催したい。
- 女性の社会進出を進めるため、地元企業と女性をつなぐ仕組みを作る。
- 米沢は交通の便が悪いので、学生専用の夜タクシーを運行させる。

<B グループ>

- バスの本数が少なくて不便なので、公共交通の充実を図りたい。
- 学校付近に、勉強やイベントが気軽にできるような交流施設(フリースペース)を作りたい。
- 子育て支援として、公園の充実、レジャー施設の充実、子ども食堂の実施、大学生と幼児の交流を進めたい。
- 専門的な店(メイク関連)や、服屋、本屋が少ないので、もっと充実したい。
- 夜歩く時に不安を感じるため、街路灯を増やすなど、安心なまちづくりを進めたい。

<C グループ>

- 人口増加のために、婚姻率を上げていくことが重要。実は、大学生には出会いの機会がないため、大学生のための交流イベント(仮名「米沢合コン大作戦」)を実施したい。米沢で出会った大学生が、米沢で就職、結婚し、家族を持てもらえれば、米沢の人口増加につながる。

<D グループ>

- 学生等、車を持っていない人も暮らしやすいように、公共交通機関を充実させたい。具体的には、乗り合いタクシーや、安価なタクシー、シェアサイクルを導入する。
- 不審者情報が多いので、市内各所に防犯カメラを設置したり、街路灯の数をもっと増やしたい。
- 女性に限らず、若い世代が気軽に頼れる場所、地域の人達とつながりを持てるように、大人のための相談場所を作って欲しい。(「子ども 110 番」大人版を作るイメージ)

<E グループ>

- 学生も、子育て世代も、シニア層もみんなが楽しい時間を過ごせるような、買物と遊ぶ場所が1カ所にまとまっている複合施設をつくりたい。
- 各自のやりたい事を、その道の先駆者がサポートしてくれるメンター制度を導入し、やりたい事を実現できるようなまちにしたい。

(3)参加者アンケート結果について

よねざわ女子 Café 参加者(30 名)に対して、イベントの満足度を確認するとともに、今後のまちづくりの参考とするための、女子 Café 当日、進路やまちのイメージについてアンケートを実施した。

参加者の属性…米沢女子短期大学生 15 名(50%)、米沢栄養大学生 8 名(27%)、山形大学生 7 名(23%)

アンケート結果は以下のとおり。

①よねざわ女子 Café 満足度…満足 27 名(90%)、やや満足 3 名(10%)

②どのような職業につきたいか

管理栄養士 7 名(23%)、公務員5名(17%)、観光・サービス業 4 名(13%)、英語教師2名(7%)、未定2名(7%)、その他(米織職人、銀行員、まちづくり、NGO、英語を使う仕事、建築関係、航空関係、企画・広報・営業、AI エンジニア、銀行員等)

③就職先を選択するうえで、重要視するもの(回答が多かった上位3項目)

1位…希望する仕事ができる 2位…福利厚生が充実している 3位…給与が高い

④就職先を考える際、米沢市内の企業も検討しているか

している 9名(30%)、していない 21 名(70%)

＜市内企業に就職を希望しない理由(自由記述)＞

- ・地元に戻りたいから 6 名(29%) ・希望する分野・職種につけないから 7名(33%)
- ・まちに魅力がないから 2名(10%)
- ・その他(働きたい場所があるから、他県で就職が決まった等)

＜市内企業に就職を希望する理由(自由記述)＞

- ・地元で貢献したいから 3名(33%) ・その他(米沢に愛着があるから、2年居住して安心するまちだと感じたから、米沢の祭り・イベントが楽しいので活性化に協力したいから、現在関わっている活動を継続しやすいから等)

⑤就職先を考える際、山形県内の企業も検討しているか

している 15 名(50%)、していない 15 名(50%)

＜県内企業に就職を希望しない理由(自由記述)＞

- ・地元に戻りたいから 6 名(40%) ・希望する分野・職種につけないから 4 名(27%)
- ・都会に就職したいから 2名(13%)
- ・その他(働きたい場所があるから、他県で就職が決まった、県内企業を知らない等)

＜県内企業に就職を希望する理由(自由記述)＞

- ・地元だから、地元で貢献したいから 7名(47%) ・山形県(米沢市)が好きだから 3名(20%)
- ・その他(働きたい企業があったため、現在関わっている活動を継続しやすいから等)

⑥希望する職があれば、米沢市に住みたいと思うか

思う 20 名(67%)、思わない 10 名(33%)

＜住みたいと思う理由＞

- ・社会人になって車があれば、住みやすいと思うから
- ・人が優しい ・知り合いもできて、良いまちだと感じるから ・住みやすいから

<住みたいと思わない理由>

・地元に帰りたいたから ・住みづらいと感じるから ・積雪量が多いため

⑦米沢の暮らしで困っていること

1位・・交通が不便 17 名(57%)が回答 2位・・街路灯が少なく、暗くて不安 4名(13%)が回答

3位・・買物がしづらい 2名(7%)が回答／ 歩道ががたついている 2名(7%)が回答

その他(熊が出て怖い、ガソリンが高い、まちなかの公園が少ない等の意見もあり)

⑧米沢市の印象

5項目(女性が住みやすいまち、女性が活躍できるまち、若者が活躍できるまち、高齢者が活躍できるまち、子育てしやすいまち、住み続けたいまち)について、米沢市の印象を以下5段階で評価

<5段階評価>

5 とても思う 4 そう思う 3 どちらでもない 2 あまり思わない 1 思わない

回答者の平均値は、以下のとおり

ア 女性が住みやすいまち・・2.9

イ 女性が活躍できるまち・・・3.2

ウ 若者が活躍できるまち・・3.6

エ 高齢者が活躍できるまち・・3.8

オ 子育てしやすいまち・・・2.9

カ 住み続けたいまち……………2.9

(4)まとめ

①今回のよねざわ女子 Café は、普段自分が感じているまちへの思いを、皆で共有し、話し合うことで、学生のまちづくり参画意識を高める良い機会となった。学生からも、グループで考えた意見を直接市長にプレゼンすることができる貴重な機会となったとの意見が多かった。

②発表された意見には、女子学生ならではの視点で出された意見も多く、例えば、街灯の少なさから夜道への不安を感じている様子や、洋服等の買物に不自由している様子が多々見受けられた。また、県外から来た学生も多い中、地域の人達との交流、さらには女性同士や、大学生同士の交流を求める意見も多かった。交流事業については、今後、学園都市推進協議会の「学生課外活動助成費」を活用し、学生の企画により実施できないかどうかを検討していきたい。

③公共交通機関への提案も多く出ており、当日配布したアンケート結果を見ても、米沢の暮らしで困っていることについては、17 名(参加者の 57%)が、交通が不便だと回答しているため、今後もさらなる検討が必要だと考えられる。

④将来の進路(就職先)については、山形県内の企業も検討している学生が、15 名(50%)であり、市内企業になると検討している学生は、9 名(30%)とさらに少なくなっている。就職先を検討するうえで、希望する職種が最重要視されていることから、市内・県内に女子学生がやりたいと感じる仕事ができる企業を増やしていく必要がある。一方で、地元に帰りたい(残りたい)という志向も強く見られることから、本市においても、高校生の内から、地元企業の情報などを広く発信していくことも重要である。

⑤地域とのつながりや、米沢の人の優しさに触れたことにより、米沢が好きになり、そのまま残って地域に貢献したいと感じている学生もいる。女子学生の地元定着には、先述したように、働く場の確保が最重要であるが、学生にとって住み良いまちづくりを進めること、在学中に様々な人達と交流を深め、米沢で楽しい思い出を作ってもらうことも重要だと考えられる。